影響からの経済正常化の動き の状況はいかがでしたか。 は続いているものの、中国に おけるロックダウン影響やウ 黒田 豊かな生き方創造 2022年を振り返

新春インタビュ

ります。こ 況のもと、 推移してお のような状 明な状況で 響により、 格高騰の影 資源価格及 先行き不透 依然として び原材料価 ます。 揮できているものと考えてい が、事業環境や顧客ニーズの く経営環境は激変しています で、引き続き強い競争力を発 変化に柔軟に対応すること 売上高は、ファニチャー事

より前年同期比0・7%増の 業が期初目標未達となった影 における第2四半期を中心と 響及びステーショナリー事業 した上海ロックダウン影響に

り、業界の動向ならびに貴社 | 2030 | 実現に向けて、既 新型コロナウイルス | 領域拡大による成長を目指す 一プは、「長期ビジョンCCC ス再配分や戦略経費支出の積 Expansion 2024」にお 第3次中期経営計画「Field 存事業のブラッシュアップと いて、既存事業からのリソー 極化など、事業領域の拡大に | 2248億円に留まりまし 率は、前年同期比〇・6ポイ 減の872億円、 総利益は、前年同期比0・8% とした原材料価格の上昇がそ り組んだものの、鋼材を中心 た。商品価格改定の浸透に取 ント低下の3・8%となりま れを上回ったことから、売上

イント上昇の3・1%となり 費率は、前年同期比1・0ポ 増の722億円、売上高販管 管理費は、前年同期比3・9%

益は、前第1四半期連結累計 前年同期比18・4%減の14 期間に持分法適用関連会社で 9億円となりました。 経営利 以上により、営業利益は、

あるぺんてる株式にかかる減 「ビジネスサプライ流通事業」

まりに着目しています。 とへのこだわりのニーズの高 学びや生活の道具におけるラ て、より自分らしく生きるこ イフスタイルツールにおい ステーショナリー事業は、 ライフスタイル領域では、

国内の既存事業のブラッシュ SNSなどを通じた自己表現 アップに加えて、国内外でデ 値文具市場が拡大する中で、 ニーズの高まりにより付加価

文具や家具にとらわれずに りました。 して計上した反動や為替差益

損損失50億円を営業外損失と

積極的な戦略経費支出等を 行った結果、販売費及び一般 した。事業領域拡大のために 売上総利益 の2つに整理し、報告セグメ 域」と「ライフスタイル領域」

化、急激な勢の長期

クライナ情

円安による

ます。当社グループを取り巻

向けた取り組みを推進してい

新型コロナウイルス感染拡大 つに変更しております。 ンテリアリテール事業」の4 「ステーショナリー事業」「イ ワークスタイル領域では、

SDG sをはじめとす

経営方針策定

おける新しいニーズに着目し

含む3社間での協議を経て、 は有益と判断し、 るが協力関係を構築すること べんてる株式会社の株式譲渡 成長に関してコクヨとぺんて 海外文具市場における更なる ぺんてるを

13・5%増の130億円とな 半期純利益は、前年同期比 円、親会社株主に帰属する四 同期比2・7%増の175億 を計上した影響により、前年

造する企業となることを目指 インで、文具や家具だけにと Company」と再定義し、「働 実現に向けて、自らの社会 が、当社グループは、「長期 業領域を「ワークスタイル領 らわれない豊かな生き方を創 く」「学ぶ・暮らす」のドメ & LIFE STYLE における役割を「WORK ビジョンCCCNOMO」の し、2022年12月期から事 セグメント別の状況です

ントを「ファニチャー事業」 散と働き方の多様化により定 によって定着した働く場の分 るプラスは、ぺんてるの成長 持分法適用関連会社としてい 様にぺんてるの株式を保有し

向を有しておりました。こう るの資本関係を解消する一方 重ねた結果、コクヨとぺんて 業価値向上に向けての検討を プラスとの間でぺんてるの企 した状況において、コクヨは 両社の共通テーマである 年

 $Recycling \rangle$ 昨年7月から販売を開始し は、

力商品の販売強化へ取り組ん 中心とした付加価値の高い注 需要低迷が続いていますが、

BtoC市場はノートや文具を | 組んでいます。 内では、BtB市場における でいます。原材料価格高騰の一時サプライチェーンに大きな

く変わりました。

又具以外の

年後半から回復傾向にあり、

続いていましたが、2022

10月単月は過去最高の売り上

カウネットの自社企画商品の

商品や好調をキープしている ズに気づくことでヒット ています。法人需 響もあり国内の市 業については、コ

の影響で長らく厳しい状況が が好調です。インドはコロナ ランド、中国は女子向け文具 います。インドはカムリンブ

プ」を発売しました。 スノートのための修正テー のつめ替えタイプ「キャンパ

このように顧客の潜在ニー

取り組んでまいります。国 ロックダウン影響により、

ジタルマーケティングの強化 影響等により、事業環境は厳

> 子中高生をターゲットとした 女子文具需要が好調に推移し 影響を受けていましたが、 ています。 元では経済正常化に伴い、 女 足 の構成銘柄に選売 Sector Relati

2023

年は

されたこと一向上を目指してまいります。

るツイッター投稿に24万件以 発売直後には、商品を紹介す合わせた修正テープですが、

の「キッズの学習がはかどるか、「文房具総選挙2022」 上の「いいね」が集まったほ ve Index] om Japan

の強化を図り、ESG評価の

で今後も、

より一層取り組み

新たな価値創造の

新たな事業の柱づくりも

ど、大きな反響がありました。 部門」で1位を獲得するな FTSE Blosso

億円となりました。 況のもと、売上高は、前年同 の需要回復により、好調に推開に伴う学生向け文具販売 前年同期比5・0% 増の52 となりました。営業利益は、 期比6・5%増の583億円 移しています。このような状 商品価格改定の実施や学校再 騰影響は続いているものの、 インドでは、 原材料価格高 つありますが、売

の対応については

いてはまだまだ伸ばせると思

出荷数は9万個を突破してお 2022年11月の時点で累計

12月には業界最小クラス

黒田 グローバル市場にお

又具市場の 次の

変化と、そ

黒田 ステージ

海外事業で業務提携

外文具市場における事業拡大 かせ下さい。 後の海外市場への展望をお聞 締結を決議されましたが、今 を目的とした業務締結契約の ぺんてる株式会社と海 を締結しました。

事業強化を目的とした業務提 りました。一方、コクヨと同 携等の働きかけを進めてまい 向上のための施策として海外 分法適用関連会社といたしま るの株式を取得しコクヨの持 した後、ぺんてるの企業価値 黒田 2019年にぺんて を中心に考えています。

向 E

戦略策定にこれまで以上に強 いイニシアチブを発揮する意 テナブル経営指針を策定しま 事業を通じて持続可能な社会 は。 を牽引していく」とするサス ワークとライフをヨコクし、 向け、ワクワクする未来の る社会課題への対応について 黒田 コクヨでは2022 「自律協働社会の実現に

着したハイブリッドワークに

ています。

たペンケース「ネオクリッ ⇒ ⟨From Fishing Nets 使用しています。また、裏牛 網を原材料の一部としてアッ ノサイクルした生地を表面に 廃棄漁

を通じて収益性の改善に取り が、事業リソースの最適化等 しい状況が続いております 中国では、上海における

んてるとの資本関係は解消 掛け合わせ、各国の市場環境 マーケティングカ・販売力と、 給していくことで事業拡大を べんてるの商品力・技術力を に合わせた魅力的な商品を供 今後はコクヨが持つ海外の 性を持ちつつ、日常生活を楽 の興味や関心の拡大に寄与す 性のある組み合わせを通じ ます。漁網と文具という意外 る「チューリングパターン」 地に漁網らしさを伝える格子 て、海洋プラスチック問題へ は海洋生物の模様を由来とす 状の柄が入ったリップストッ しく彩るデザインとなってい をあしらうなど、海との親和 生地を用い、ファスナーに 衛生用品や雑貨などが良く売

図ります。対象国は中国など 上を目指す SG評価の Russell により構築された「 ることも意図しています。 プロバイダーである FTSE グローバルインデックス

がりもあり、文具 が、ライフスタイ サプライの市場は 新たな価値を創造 にあって、お客様 スタイルが大きく い1年になると見 れています。デジ 品開発はもとより 変化への対応に

がでしょうか? 国内市場は縮小傾 ための取り組みを進めます。 い。では、海外 ステーシ

回収された廃棄漁網を原材料の一部に使用したペンケース 「ネオクリッツ〈From Fishing Nets Recycling〉」



累計出荷数 92 万個を突破(2022 年 11 月時点) した「キャンパスノートのための修正テ

変化する中

とってどのような年となるの

2023年はコクヨに

ルやワーク ついてです ています。

ばしています。

今年も厳し

ン実施で不透明感が出ている ナの再流行によるロックダウ げでした。中国は上海がコロ

ものの、全体ではシェアを伸

向にあり厳 ナリーは、

億冊を販売するキャンパス 最近のヒット商品に、「キャ

テープ」があります。年間約 ンパス ノートのための修正 トの紙の色と罫線の幅に

や販売面、情報発信を含め、 が求める商 し提供する 商品企画 サービスに反映させていきま ためには流通の皆様からお客 いく年となるでしょう。その でしょうか。 の声を集めて、商品開発や しい事業の柱づくりを行って 黒田 2023年は次の新

が、一企業だけでなく、

思います。 いました。 ぐるみで行うことも重要だと の取り組みが加速しています 本日はありがとうござ

みを進めていきます。 団体や各企業の環境への新た 施行されたこともあり、 ゆる視点から多角的に取り組 成功事例なども生まれていま 2023年もコクヨはあら プラスチック新法案が 業界

うか。 すが、どの様にお考えでしょ な取り組みが注目されていま 黒田 プラスチック削減や

アップサイクルなど業界各社